



生命の星・地球博物館の標本 de ぬりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。



ダイオウホタルイカモドキ

Ancistrocheirus lesueurii (d'Orbigny, 1842)

KPM-NGL000124

春の味覚としておなじみのホタルイカのなかまですが、ホタルイカに比較して6倍ほどの大きさの大きなイカです。体も寒天質でプヨプヨとしており、ホタルイカとはずいぶん違います。インド洋、太平洋に広く分布する種類ですが、食用とされないため、ほとんど知られていません。

詳しくは、生命の星・地球博物館の広報誌「自然科学のとびら」(vol. 21, no. 3, p.17; http://nh.kanagawa-museum.jp/files/data/pdf/tobira/21-3/tobira81_1sato.pdf) をご覧ください。



【ポイント】 暗い葡萄色の表層膜と、乳白色の軟体部本体をぬりえでどう表現するのが難しそうです。寒天質の頭部や目もうまく色が塗れるでしょうか。



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History